

愛 & 心

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

愛の家
利用者さんの作品



2022年新春のごあいさつ

- ◆理事長
- ◆愛の家 施設長
- ◆あいハート須磨 施設長
- ◆あいハート離宮前 施設長

[愛の家]

- ◆きぼう
- ◆かがやき
- ◆工房みさき
- ◆グループホーム
- ◆みらい

[あいハート須磨・離宮前]

- ◆特養・短期入所
- ◆須磨デイサービス
- ◆居宅介護支援事業所
- ◆あんしんすこやかセンター
- ◆厨房
- ◆脳梗塞リハビリステーション神戸須磨
- ◆あいハート離宮前



あいハート離宮前
利用者さんの作品



須磨デイサービス
利用者さんの作品



256号

2022 January



理事長
橋本 寿樹



アップを図り、将来的に経営に携わる人材を育成していかなければならないと考えます。労働組合が設立した趣旨を忘れることなく働く人を大切に

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃の当法人に対するご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

昨年は皆様方のご理解とご協力をいただきながら、介護報酬の改定等により厳しい収支状況にある「特別養護老人ホームあいハート須磨」において増築を竣工致しました。増築に際し多くの法人、個人の皆様にご賛同を賜り建設資金の寄付金を頂戴しましたことに改めて御礼申し上げます。この増築を機に収支構造の改善を図るとともに、「2025年問題」を目前に控え懸念される介護サービスの供給量及び質の向上に努めて参ります。また、課題である人材確保については、本部と各施設が連携し、あらゆるチャネルを通じて取り組んでいくこととします。人材育成については、各施設の職員のキャリア

するバランスのとれた組織・体制づくりを目指していくこととします。また、2023年度9月末で「あいハート須磨」の土地無償契約が終了することから、関係組織との対応を進めていくこととします。

昨年は法人が設立されて50周年という節目の年でもありましたが、次の50年、100年に向け、今後更安定した経営を継続していくとともに、地域福祉の拠点として更なるサービスの充実、発展に努めて参りたいと考えております。

引き続き当法人へのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



あいハート須磨 施設長
森本 光弘



しました。現在、既存多床室のプライバシー保護のための改修工事を実施しているため、増床エリアの新規受入れは4月以降になる予定

新年明けましておめでとうございます。旧年中はあいハート須磨の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスのクラスターが発生したことで多くの皆様にご心配をおかけしました。とりわけ、面会もできない状態の中で、悲しいお別れを強いられ

たご家族の皆様のお気持ちは察するに余りあるものであり、大変、申し訳ない思っています。約2カ月間に渡るレッドゾーン対応の中での出口

の見えない不安は、職員にとつて大きな負担になりましたが、感染防止対策に関する知識とスキルは確実に向上したと感じています。

また、昨年は増築工事の関係で、ご不便とご迷惑もおかけしました。着工直後に、地中障害物(旧NTT須磨別館の基礎)の存在が発覚、撤去工事に伴う振動と騒音

で近隣住民の皆様にもご迷惑をおかけしました。約1カ月の工期延長と追加費用が発生しましたが、昨年11月末に無事、引渡しが完了

今年も、既存多床室以外の大規模改修も実施します。特養エリアは、床材や収納設備の全面改修、デイサービスエリアでは日常訓練スペースや浴室の拡張等を行います。利用者サービス向上のための改修に加え、1階共有スペースに職員休憩用の個室を設置するなど、職場環境の改善に関する改修も計画しています。

増床エリアの開業に加え、大規模な改修工事を実施することから、今年「リニューアルオープン」の年であると思っております。大規模なハード面の変化を機に、ソフト面の見直しを意識することで環境変化への適応力を高めていきたいと考えていますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。2022年が皆様にとって、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。





愛の家 施設長
上野 隆幸



います。

新年明けましておめでとございます。

この度、愛の家施設長を拝命しました上野隆幸です。

皆様におかれましては、穏やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は施設運営にあたり、多大なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このような大任を任されることになり、責任感をひしひしと感じています。またそれと同時に大変光栄に思っています。

まだまだ未熟者で前任者のような仕事ができるかどうか不安に感じることありますが、一日でも早くこの役に相応しい存在となれるよう日々精進してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて昨年は、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症により外出や面会の自粛、帰宅の制限など皆様には感染防止対策にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。

めてまいります。

一方で、地域の方によるバーベキュー大会や喫茶サロンの再開、年末には50周年記念クリスマス会を感染症対策を講じたうえで盛大に開催することができました。少しずつですが施設の賑わいが戻ってきています。引き続き施設運営にお力添えを頂けますと幸甚に存じます。

今年には新たな50年への第一歩です。微力ではございますが、職員一丸となつてどこよりも一番活気があり、そして全ての方が楽しいと感じられる施設となるよう今まで以上に業務に邁進し、さらに希望が持てる輝かしい1年にしたいと思っています。

結びに、本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます、新年と就任のご挨拶といたします。

結ぶに、本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます、新年と就任のご挨拶といたします。



あいハート離宮前 施設長
古崎 徹



新年明けましておめでとございます。

旧年中は、ご利用者様、地域の皆様、N T T労働をはじめとする各種団体の皆様方による格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

あいハート離宮前はまもなく満9年となりますが、ご入居者様の平均年齢は90.4歳で入居期間が5年を超えた方が約4割おられるなど、ご長寿でお元気な皆様とともに今年も全館満室の盛況のうち新年の佳節を迎えさせていただくことが出来ました。

さて、この入居期間に関して先般「プレジデント」という経済誌の中で、少し気になる記事を見かけました。

記事の内容は「老後2,000万円問題」などを取り上げ、老後に備えた現役世代の資産形成や家計管理についてファイナンシャルプランナーが解説するというものでしたが、記事の前段で老人ホーム入居中に預貯金が底をつき、ホームを追われたという高齢女性の紹介がありました。

昨今、入居金ゼロを訴求する有料老人ホームをよく目にするようになりましたが、介護報酬は一律で、経費のうち最も大きな割合を占める人件費には一定の業界水準がありますから、立地や設備が同等であれば月々の利用料は割高になる傾向があり、このような問題が起りやすくな

るのだと思います。その点当ホームが採用する入居一時金方式はご入居時に一定のご負担はあるものの、償却期間を超えても追加的な費用のご負担がありませんので、終身にわたる資金計画を立てやすく、償却期間内にご契約が終了した場合にも未償却部分をお返しするという仕組みであることが、多くのお客様に受け入れられている所以だと考えています。

このように、有料老人ホームのご利用に際して資金計画が重要であることは言わずもなですが、それ以外にもサービスやスタッフの質、経営状況など有料老人ホームを選ぶ上でチェックしていただきたい重要なポイントがいくつかありますので、改めて次の機会に詳しくお伝えしたいと思います。

ご承知の通り介護業界の人手不足は極めて深刻な状況にあり、サービスに直結しますスタッフの確保と教育・育成には多くの苦難が伴いますが、新しい年も全職員の精励と英知を結集させ、《感動》が得られるような介護サービスをご提供できま

すように一層の努力をして参ります。未曾有の禍により長期にわたってご利用者様にはご不便やご不自由をお掛けしておりますが、新しい年の穏やかな世の中になりますことを祈念しますとともに、感染防止への一層の取り組みに努めて参りますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

愛の家

きぼう

◆ 主任 鳴神 明美

新年明けましておめでとうございます。2022年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症対策に迫られる1年となりましたが、皆様のご理解とご協力のもと、全児童安全に健やかな日々を過ごすことができました。今年も新たな変異株について正しい情報を的確に捉え正しく恐れ、コロナ禍を共に乗り越えていきたいと思っております。

さて、今春5名の児童が卒業され地域移行されます。コロナ禍のため思い通りに進まない状況下の中、不安や苛立ちをあらわにする児童もいましたが、焦らず今できることから進めてまいりました。沈静化したタイミングを見計らい、住まいや就労先を自己選択してもらいました。将来に夢を抱き前に進む子ども達の姿は立派でも胸が熱くなりました。

まだまだ先行きの見えない日々ですが、こんな日々であるからこそ、俯瞰的に捉え行動し、医療関係者の方々をはじめ、関係機関の方々への感謝を忘れずにいたいと思います。



今年も皆様と共に子ども達の安全と成長を願い、職員一同力強く支援してまいりますことを誓い、年頭の挨拶とさせていただきます。

かがやき

◆ 部門長 山本 裕之

新年明けましておめでとうございます。新年の抱負を述べる前に、現状のサービス概要について、簡単ではありますが、ご説明いたします。

愛の家「かがやき」では、主に知的障がいのある利用者の方々が、35名在籍しています。サービスとしては2種類あり、日中サービスとして生活介護、夜間のサービスとして施設入所をご利用されています。

現状の課題としては様々なものがありますが、その中でも利用者の方々の高



齢化や、障がい特性の多様化(強度行動障がいや被虐待ケースなど)が目立つようになりました。また、コロナ禍も相まって、社会参加活動に制約がかかり、心身機能の低下も少なからずみられます。対策の一環として現在、支援スタッフと協議しながら、日中活動の見直しについて、取り組み始めています。利用者個々の特性に応じた、日中活動を提供するということを目標に、今年もスタッフ一丸となって進めていきたいと思っております。

これからも皆様方のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

工房みさき

◆ 部門長 渡會 幸喜

新年明けましておめでとうございます。昨年10月の人事異動で4年ぶりに、工房みさきの部門長に就任しました。

みさきでは、職員、利用者一同、感染症蔓延防止のため、手洗いや消毒、換気を徹底して行っています。今のところ感染者は出ていません。

最近では、新型コロナウイルス感染者は減少傾向にあるものの素直に喜べることだけではありません。それは、度々、企業より請負作業がもらえない日があったことです。早急に、新規請負先の確保が必要となります。

さて、部門実行計画モラスタスパートナーに差し掛かりました。達成に向けて、大切なことは声を拾いあげることです。利用者が声をあげること、簡単なように聞こえますが勇気がいることです。私たちの仕事は、声に対して傾聴し受容するこ



とです。また、相手の立場に立つて考えることです。それは、サービスの原点でもあり、私たちの使命でもあります。すつきりしない状況が続きますが、一刻も早く、新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、本年も皆様、御健勝で御多幸でありますよう、心から祈り申し上げます。

グループホーム

◆ 主任 山口 真吾

新年明けましておめでとうございます。2021年は新型コロナウイルスが引き続き世界中で猛威を振るい、新たな変異株も次々に発生し、かつての日常を取り戻す日はやってくるのかと、そんな気にさせられる1年でした。

そんな中でも、日本では東京オリンピックが無観客ながら開催され、日本選手がたくさんのメダルを獲得し、多くの人に感動をもたらしたのは記憶に



新しいところから。

昨年は、法人創立50周年の節目の年でありました。愛の家でも記念行事や企画等を予定していましたが、「コロナ禍で中止や縮小等の対応になったことは残念でした。そういった中でもいろいろと工夫をした取り組みを行うことができたことは、よかったです。」

2022年は、新型コロナと共存しつつ、愛の家の次の50年に向けて、その中の一員としてまた頑張っていきたいと思っております。今年も一年よろしくお願いたします。

みらい

◆リーダー 片岡 正年

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もスタッフ一同さらなる努力をもって皆様のお役に立てるよう頑張る所存です。今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いたします。



2022年を迎えても「みらい」の抱負は変わらず、『利用者ファーストを合言葉にみらい利用者の夢が実現出来るように一緒に考えていきます』です。その為には制度等の知識、社会資源

の把握、利用者さんとの信頼関係、そして行動力が必要となってきますので、日々努力していく所存です。また、みらい契約者以外の方でも気軽に相談できるような地域のサロン活動等に参加し、交流を図っていかねばなりません。しかしながら、生憎このご時世…、いっ緊急事態宣言が発令するかわからない状態となっていますが、今できる事を精一杯やっていきたいと思っております。「みらい」の相談員は一人しかいませんが、トラブルがあっても虎穴虎子の姿勢で挑み、何事にもトライの一年にし、笑ガオーに溢れた一年にしていきたいと思っております。皆様よろしくお願いたします。

あいハート須磨・離宮前

◆特養・短期入所

◆部門長 原田 浩樹

◆日口は好日
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。



旧年中は新型コロナウイルスにより皆様が多大なご迷惑とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、施設運営にご理解とご協力頂き誠にありがとうございました。現在も変異ウイルスが少しずつまん延しつつあ

り、まだまだ予断は許さない状況ですが、ご家族様との面会も再開となり安心しております。

昨年を振り返ってみますと、特養でコロナが発生し対応に追われた日々を忘れることが出来ません。入居者の感染が確認されたから次々と感染者が増えていく中で、職員にも感染が拡大し、人員が不足する中で「コロナ罹患者の介護は想像を絶するものでした。日頃からの感染対策に関して不十分であったことや、さらに強化しなければならぬことなど再確認することが出来ました。

今後この経験を活かし緊張感を持って感染予防対策に努めていきたいと思っております。

そして、特養でのコロナが終息してから入居者様50名が入院やご逝去されることなく約3か月間経過することができました。ヘッド稼働率が100%をこれだけの期間継続できたのは、日頃の細やかなケアの継続があったからだと思います。

介護においては食事・水分の提供はもちろん、排泄や入浴介助、転倒やケガのないように移乗の介助や見守りの重視。看護では、入院すると身体状況が悪化するため出来る限り施設でケアしよう、医師との連携による健康管理や異常の早期発見など、適切な対応がなされました。

コロナの時期から退職や体調不良と職員の欠員があり、十分な体制ではない中で『毎日毎日が無事で良かったと思える日』を継続することがいかに大切かを、コロナを経験し、改めて考えさせられました。この度は、入居者の方の安全と健康管理に努めてくれた現場職員には本当に良く頑張ったなと労いと感謝の

言葉を贈りたいと思います。

今年の特養増床棟が完成し、現在は既存の居室のプライバシー改修工事を行っています。これから、新たな入居者様を迎えるにあたって、業務の改善やケア方法の見直しが責務となってきます。これからも入居者の皆様には安全で安心な施設生活が送れるように努めていきたいと思っております。

須磨デイサービス

◆部門長 仙波 剛

◆今年はいよいよ
リニューアルオープン

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

さて旧年は、新型コロナウイルスによる影響が大きく現れた1年でした。デイサービスでは2週間の臨時休業が発生し、ご利用者、ご家族、関係事業所様には多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。それによって稼働率、収支にもマイナス影響が発生する状況となりました。以降は感染者も少なく、少しずつ回復に向かっているところではありますが、まだまだ気を緩めることができない状況が続



いており、日々消毒などの対応を徹底し、感染予防に努めています。

話は変わり、本年は須磨デイサービスにとって変化の年になります。2月より浴室をはじめ、フロア内の大規模な改修工事が行われる予定です。事業計画にある『資金収支差額の確保(最大化)』に向けた一歩を踏み出すことになりました。

経費削減はもとより、介護保険収入増に向けて、受け入れ人数の増加、入浴スペース拡張による入浴介助稼働の効率化、それによる職員配置やプログラム内容の見直し等に取り組みこととしていきます。これをリニューアルオープンと位置づけ、心機一転、スタッフ一丸となり、資金収支をマイナスからプラスに転じていけるように取り組んでいく所存です。インスタグラムやダイイ等を通じて、リニューアルした、あいハート須磨デイサービスをお伝えしていきたいと思ひます。

居宅介護支援事業所

◆ 部門長 丸島 幸子
いらぬ物は捨て、シンプルに暮らし、自分時間を楽しみながら充実した1年をおくりたいと思ひます。

◆ 主任 菅家 妙子
日々の暮らしの中で好きなこと、大切にしてることをあきらめずに続けたいと思ひます。

◆ 今城 ゆり
読もうと思つて読んでいない本、会おうと思ひながら会えていない友人、今年こそクリアしたいと思ひます。



◆ 余田 恵
脳トレ、筋トレに励み、心身共に健康に暮らしていきたいと思ひます。

◆ 橋本 裕弥
2021年には家族がひとり増え、節目の年となりました。より仕事と家庭の充実が図れるように時間を大切にしたいです。

◆ 浪江 知永子
働き続けられる事に感謝し忍び寄る老いとの全面戦争に毎日のウォーキングで立ち向かいます。

◆ 松井 栄子
20220222、今年の誕生日はぞろめ。何かいい事ありそう！一日二日大切に過ごして行きます。

◆ 稲田 仁美
マスクの下の口角あげて、気持ちは前向きに。あつという間に過ぎる日々、大切にすごします。



あんしんすこやかセンター

◆ 部門長 柏木 照子
信頼されるセンターを目指し、笑顔と感謝と、一期一会・繋がり大切に健康に進みます。

◆ 日和佐 祐樹
行雲流水 焦らず、慌てず、平常心を持って、自然体で業務に取り組みたいです。

◆ 大道 雅子
初心を忘れず、人と人とのつながり大切に、楽しく仕事ができるよう頑張りま

◆ 小原 みゆき
人が持っている力を発揮でき、人と人が繋がるよう、日々精進します。

◆ 前田 昌也
自分に厳しく、精一杯仕事に励み、関わっている皆さまに行動で感謝を伝えられる一年にしたいです。

◆ 藤井 幸代
ひとつひとつの出会いや出来事を大切に、丁寧な仕事を心がけていきます。



◆ 篠崎 美菜子
初心と笑顔を忘れず、皆様に色々と教わりながら、成長できる一年になるよう頑張りま

◆ 平池 方子
周りの方が笑顔になれるよう、精進努力させて頂きます。

◆ 森元 淳子
①自己免疫アップ継続します。②更年期とうまく付き合っていきたい、ハーブを育ててハーブティにしたいです。

厨房

◆ 部門長 管理栄養士 澤田 州子

新年明けましておめでとうございませう。昨年は小さい規模ながら月ごとの季節の行事食を行うことができました。厨房のお正月はおせち料理を作ることから始まります。

今年も多くの行事食を予定しており、皆様に喜んでいただけるよう精進してまいります。

健康を維持するためには栄養のバランスが大切ですが、高齢者の食事はバランスはもちろん、タンパク質をしっかり摂ることが特に重要とされています。あいハート須磨の食事摂取基準は、バランスをとりつつタンパク質の素である肉や魚、卵や大豆製品、乳製品などをしっかりと献立に組込んだものになっています。

また、昨年より栄養強化加算を算定し、入居者様の体格と生活活動強度を元に、個人にあった必要栄養量を算出しデータ化することで、栄養管理をより細



やかなものになっています。
 これからも厨房職員一同、美味しく栄養のある食事作りに努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

脳梗塞リハビリテーション神戸須磨

◆センター長 伊藤 正憲

新年明けましておめでとうございます。脳リハは開設から2年を迎えます。今日に至るまで、

体験プログラム・リハビリプランのご利用者50名を超え、施設総数は1,100件を上回りました。この経験はスタッフの後遺症へのアプローチ能力を高め、新たな



なサービスを検討する機会にもなっています。

昨年は、私と16年前より親交のあった作業療法士の垣本先生が仲間に加わりました。脳卒中リハビリを得意とする彼の活躍ぶりは脳リハを活性化しています。

アンケート調査で95%を超えるご利用者より、「満足」「ほぼ満足」の高い評価をいただいている当センター。リハビリプランの継続契約率の高さは後遺症の改善が実現している証でもあります。高い技術力の発揮と徹底的に説明することにこだわる脳リハであり続けます。

2022年も課題は明白です。それは新規ご利用者を増やすこと。問合せや体験プログラム利用者の増加は営業への注力に比例するでしょう。杉本先生も営業の一翼を担ってくれており、センターとしてもさまざまなプロモーションをかけていきます。

「信頼し合っている3人だからこそできること」、たくさんあるように思います。仲間がありがとうの言葉を添えて、今年も脳リハは走り続けます。

あいハート離宮前

◆部門長 宇根 知英

「ホスピタリティ精神」を持って

新年明けましておめでとうございます。2022年（令和4年）は「ホスピタリティ精神」を持って、ご入居様が想定していない最高のサービスが提供できるように考えていきます。「ホスピタリテ

イ」とは思いやり・心からのおもてなし)のことで、決して対価を求めるものではありません。お客様が心地よい余韻と感動を受けることを追及しています。福祉業界で言われている「サービス」とは、お客様が想定できる、または期待している範囲のものです。今年は見守りシステム(介護ロボット)の導入・運用開始が決定しています。システムの運用を軌道に乗せることにより、今までは見えていなかったこと、予測できなかったこと、ご入居者様起こり得るであろう重大な事故を未然に防ぐことが可能となって、「安心と安全」が守られていくと強く信じています。

あいハート離宮前でご入居様に提供しているのは「サービスではありません。ホスピタリティです」と、全職員が胸を張って言える日が訪れるよう努力していきます。



ご支援をくださった方々

11月

◆寄付金

NTT労働組合退職者の会
 神戸地区協議会様

松本雅代様

宮本泰子様

◆寄贈品

情報労連兵庫県協議会様

ダスキン様



(計5件)

12月

NTT労働組合西日本本部様
 大阪キリスト教短大様
 安崎貞宣様
 斉藤文子様
 美谷 恵津子様



◆後援会費

NTT労働組合西日本本部様
 NTT労働組合
 持株グループ本部
 コムウェア西日本分会様
 NTT労働組合
 持株グループ本部
 NTTファイナンス関西分会様
 NTT労働組合
 コミュニケーションズ本部
 関西分会様

◆寄贈品

ダスキン様
 メゾンパール様
 子安 朱美様



(計12件)

EPA介護福祉士候補者の紹介

2021年11月からEPA候補生としてあいハート離宮前でお世話になっていますレー・ティ・ハイと申します。

私はベトナムの中部のクアンチから参りました。高校生の時からテレビで見た日本に興味を持ち、大学を卒業したら介護という仕事が発展している日本でチャレンジしたいと思いました。

コロナで来日が予定より遅くなりましたが、やっと日本に来られて嬉しかったです。

日本で働くことに心配はありましたが、仕事や生活面でもいつも施設の先輩が熱心に教えてくださるので、だんだん慣れてきました。

今の私の目標は同僚やご入居者様の話が理解できて、介護福祉士の国家試験に合格して、長い時間日本で働くことです。そのために、毎日日本語だけではなく、専門知識も精一杯頑張って勉強しています。

まだ、分からない事がたくさんありますので、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。



レー・ティ・ハイ

外国人人材を介護職として受け入れる為の4つの制度

現在日本は深刻な人手不足の問題を抱えており、厚生労働省によると、2025年までに34万人の介護人材が不足するといわれています。

これに対し、国の政策としては介護職における外国人労働者の受け入れを進めています。

現時点で外国人労働者が日本で介護職として働くために認められている4つの制度があり、簡単にご紹介します。



① EPA介護福祉士候補者

EPA(経済連携協定)に基づく外国人介護福祉士候補者のことです。要件は、日本語研修機関による訪日前の日本語研修(6~12ヶ月)日本語能力試験の修了⇒入国⇒日本語研修機関による訪日後の日本語研修(2.5~6ヶ月)⇒介護事業所で雇用・研修⇒入国から4年目に国家試験を受けて介護福祉士の資格取得⇒介護福祉士として引き続き就労(在留期間の制限なし)という流れです。

当法人でも、5年前から取り組みを開始し、現在ではあいハート須磨で3名、あいハート離宮前で2名、計5名のベトナム人職員を受け入れました。

② 在留資格「介護」

日本の介護福祉士養成校を卒業した在留資格「介護」を持つ外国人の雇用のことです。養成校に入学する要件としては、日本語能力検定がN2以上に合格、もしくは日本語教育機関で6か月以上学習し、日本語試験でN2相当以上と確認できることなどになります。就労までの流れは、入国⇒介護福祉士養成校に留学(その前に日本語学校に通う場合もあり)



⇒介護福祉士の資格取得⇒介護事業所で雇用(介護福祉士養成校に留学中にアルバイト雇用することも可能)となります。

昨年4月にあいハート須磨でも1名のベトナム人職員を採用、他にも学校に通う留学生1名がアルバイトとして勤務しています。

③ 技能実習制度

技能実習制度を活用した外国人(技能実習生)の雇用のことです。具体的には、日本から諸外国への技能移転を目的として、外国人を日本の産業現場に一定期間受け入れ、OJTを通じて技能や技術等を学んでもらい、母国の経済の発展に役立ててもらおうための制度になります。要件としては、帰国後に習得し技能等を要する業務に従事する予定、介護と同様の業務に従事した経験を有するなどがあります。

④ 特定技能1号「介護」

2019年4月に始まり、就労目的で外国人人材を受け入れるための在留資格です。在留期間は上限が5年までと定められています。特定技能1号になるためには技能水準、日本語能力水準の2つの試験に合格する必要があります。その後、入国し介護事業所で雇用されて帰国という流れです。

このように、当法人でも外国人人材の雇用は少しずつ進んでいます。その中で、課題もあり、当法人で長く働いてもらえるような待遇や環境の整備、モチベーション維持に繋がるキャリアアップなど、長期的なサポートが必要となります。さらには、外国人同士が安心して参加できるコミュニティが広がるような取り組みも、今後は推進していきたいと思っています。

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

